



ASTAGE *College*

MAKE TOMORROW
A LITTLE BETTER

社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

November
2025.11

MÖLLKY



ASTAGE CUP 一般参加の皆様（順不同 敬称略）

上田恵/NO.1HEROES

佐々木優/NO.1HEROES

なかはらあき/個性心理学認定上級講師

中原晋庸/(有)日本チャート販売

大石珠花子/結婚相談所BLANCA

梶彰子/失語症ピアサポーター

こんばうさん/吉本興業

士林由美子/(一社) 日本看取り士会

山田俊宏/士林さんのご友人

益満愛/株式会社ポムスタイル

酒本直弘/株式会社ブランエステート

奥村弥司/株式会社日日化学サービス

山元久良/株式会社山元紙包装社

外山英/Osaka Digital Academy

島木真人/日本ファイナンシャル
プランニング株式会社



衣装協力：

- チームオーダーショップCONCENT
- 滋賀県栗東市小柿10丁目16-6
- 077-552-6089



1ST ASTAGE CUP



第1回ASTAGE杯モルック大会を開催した10月最後の金曜日は、秋晴れと秋晴れのちょうど谷間の雨の日になっちゃいました。雨天中止も危ぶまれる中でしたがASTAGEメンバーに加え、沢山の一般参加者が参加してくれて、総勢25名が集う記憶に残る一日となりました！

モルックは誰もが楽しめる北欧の大変よくできた競技で、数々のドラマや名場面が繰り広げられました。5人制4チーム対抗のトーナメント方式で戦い、優勝チームには優勝杯と記念チョコメダル、副賞の米10kgが贈呈されました。

大の大人が子供に返ったように夢中になって一喜一憂するってホントに楽しいもんですね。どこからともなく笑い声が響いて、小雨降るなど何のその！「次は春に花見しながら、モルック大会せなアカンなあ〜」と早速、第2回大会の企画も定まりました。

ご参加いただいた皆さん、有難うございました！





これから先の人生で、新しい自分を発見する時には
きっとファッションが味方になってくれる。

永井純

(セント・オーディン)



<https://www.st-odin.jp/>

- セントオーディン 2001年設立
- 〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1丁目13-2 藤原ビル2F TEL: 06-6459-2377
- 業種: オーダーメイド衣服の製作・販売
- 取組み: 「自分らしさ」を表現するオーダーメイドを中心に、リメイク事業やサステナブルブランド事業も展開。
2016年には念願のパリコレ出演も実現し活躍の場を広げている。テレビドラマ等への衣装提供なども実績多数。



大阪市西区・靱公園のすぐ横にあるビルの2階に「セントオーディン」があります。窓からは、公園の緑に反射した優しい光が差し込む、何とも落ち着きのある空間。壁際のラックにある沢山の洋服たちと明るい笑顔の永井さんが私たちを出迎えてくれました。

まず初めに永井さんから店名の由来を伺いました。「オーディン」と聞くと、北欧神話に出てくる神様の名前かな...と思いきや、実は「御堂筋(MIDO ST.)」を逆読みしたもの(ST.ODIM)だそうです、一同驚きです!「大阪から働く女性のファッション文化を発信したい」という想いを込めて名付けたそうです。

新卒から一貫して服づくりに携わってきた永井さんは、自身も身を置くアパレル業界の「大量生産・大量廃棄問題」に直面し、服の“命”を循環させる活動として「from clothes」を開始。お客様の不要服を引き取り、かつての持ち主の思い出の数々をタグに添えて次の持ち主に譲る「服の再生・循環」プロジェクトを学生ボランティアと展開しています。

今回は特別に、毎月開催されている時の様に古着たちを準備して頂いて、参加したASTAGEメンバーとワークショップを開催してくれました! 永井さんから提案されたのは、2人一组になって「自分の気に入った1着を見つけること」と「パートナーに似合

う1着を見つけること」でした。最初こそ緊張していたメンバーたちでしたが、服を着替える度にドンドンと表情がほころんできます。

「普段の自分では選ばない服が意外と似合うことがわかった!」「人から選ばれた服で新しい自分を発見できた!」といった気づきが生まれる中で、タグに書かれたその洋服一つ一つが持つ物語にも触れ、着る喜びに深みが加わっていきました。

「青空のようなブルーやカーキが好き。将来はカッコいいおばあちゃんになりたい」「シンプルで肌触りの良い服を着て、社会と関わっていきたい」「服を着ることが楽しい事だということを初めて知った」自分や誰かに似合う服を選ぶという作業を通して、自然に『自分らしさ』や『将来像』を語るメンバーたちの姿が印象的でした。

今回の訪問では、「その服を着ることで気持ちが明るくなった、新しい事に挑戦する勇気が湧いたり、服が人を変えることがある。きっとこれからも、洋服が皆さんを応援してくれるはず!」という永井さんの言葉を体感できた一日でした。ASTAGEの利用者たちは、試着と対話を通して“自己理解”や、古着とその服が持つ物語から“他者とのつながり”を深め、ファッションを媒介にした様々な心の交流が生まれていました。



創る学



最初は難しくても、 形が見えてくるとやる気になるよ

盛田三由紀
(POLA Academy-M)

前回は生活学『美と健康について』で登場いただいた盛田さんに『ソックモンキーづくり』を習いました。普段はお肌のカウンセリングなどを行う盛田さんが何で!?という疑問はさほど起らず、割とすんなり説明を受けるASTAGEメンバーたち(笑)

「靴下を裏返して、ハサミをチョキッと入れたら縫い合わせて、綿を入れたら胴体の完成…」ってほど全く簡単ではなくて、不慣れな手つきで四苦八苦する訳です…。上手いかずにイライラする人、痛!!と思わず小声で口に出しちゃった人。始まりの皆の表情はカチコチでしたが、終盤には自分なりの達成感を感じ始めました。苦手なこと、不慣れなことに挑戦してこそASTAGEらしさです。失敗は挑戦した者だけが得られる経験な訳ですから、はい、どんどんやっていきましょう!



ソック
モンキー
作り



■POLA Academy-M店
■住所: 〒570-0012大阪府守口市大久保町5-71-15
■業種: プライベートサロン、化粧品販売等
■営業時間: 10:00-18:00 (最終予約16:00)
■定休日: 土日祝 (※店 相談)
■TEL: 080-8073-3439

平面から立体へ、2Dから3Dへ。日本が世界に誇る伝統文化である折紙ですが、今回チャレンジしたのは鶴ではなくて花器。A4用紙を半分にして、その半分を16等分にして…と幾何学的な作業の連続に、参加者の多くはグロッキー状態(人_人;)それでも、手習いとは良く言ったもので、自然と指が覚えだすと、段々と工程が進み、何とか完成にたどり着くことが出来ました。完成した姿をイメージ(想像)しながら、一つ一つ丁寧に作業を進める(創造)。この2つのSOUZOUこそが、つくる学の最重要ポイントであり、AIや機械とは違った人間らしさのポイントだと思います。



大人折り紙
花瓶

毎月第4月曜は、創る学・自由制作の日です。いつもと違って、何にどう取り組むかは全くの自分次第。この日は自主製作するTシャツ用のイラストを描く方、黙々と折紙をつくり続ける方など、各々が自由に時間と作業を決定して取り組みました。作業としては、ただモノづくりをしているようにも見えますが、自分の時間の使い方や作業工程と求める完成度などを自分自身で選択・決定するプロセスには、意思決定の力を育む要素が満載です。小さな選択と決定の連続が結果となって現れる。その結果が積み重なった経験が、自分の自信になったり、次の意思決定を生み出す原動力になっていきます。便利な世の中ですから、何も考えずとも生活は前に進んでいってしまいます。皆さんも『今日は自由制作の日』というのをつかって、いちいち自分で考えて行動する日を持ってみませんか?



自由制作

よのなか学

よのなか
インタビュー周りを気にせず、
遠くを見ずに

水口 良一

(グローバル法律事務所・弁護士)



幼少期に体が弱かった水口さんは「体ではなく頭で勝負できる仕事を」と中学時代に弁護士を志しました。学費を稼ぐアルバイトと猛勉強を重ね、司法試験に合格。弁護士となってからも「今までほとんど休んだことがない(笑)」というタフさで仕事と学びに没頭。東日本大震災の避難所での相談業務を通じ「自分はこのために生まれてきた!」と職業的使命を改めて強く実感したそうです。

罪を犯した人の弁護を行った際のエピソードも印象的でした。軽犯罪を繰り返す人の人生と良心に真摯に向き合う水口さんの姿勢に、罪を悔い改め更生を誓った受刑者からのお手紙が紹介されました。この経験から「相手の良さに目を向ける」という姿勢が今も弁護の根幹になっています。

最後に「徹底した準備が緊張を和らげる秘訣」と語った水口さん。実は大のあがり症だそうで、だからこそその説得力ある言葉だと感じました。



グローバル法律事務所

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号幸田ビル3-4階

TEL: 06-6365-6154

業種: 法律事務所

■設立: 昭和55年(1980)12月

https://www. |

不幸の塊に見えていた過去を
今は感謝に変えて

吉田 弘人

(株式会社なんくるないさ)

ご両親が新興宗教に入信した4歳から「神の子、選ばれた子」として宗教活動中心の生活が始まりました。毎日ネクタイを締めて布教活動に従事し、TVもゲームも禁じられた暮らし。学校の授業や給食、修学旅行先でも様々な制約がある中で、孤立する辛さは吉田少年にとって相当キツかった様です。

22歳の時に、布教活動で離島に移住したことを契機に、教義への違和感や葛藤が深まり、脱退を決意。教団を脱退したのは32歳の頃でした。教義により、それ以降ご両親との関係は途絶えたままです。

「自分を『不幸の塊』と捉えることもあったが、今は過去を感謝に変え、還元していくことを使命としています。」と語ってくれた吉田さん。最後には、2年前までの壮絶な過去を封印していた事も教えてくれました。

「誰かに自分を開示することは、今でも相当疲れるけども、自分も今にして気付く学ぶことが沢山あります。」と学び続ける姿勢の大切さを学んだ貴重な時間でした。



株式会社なんくるないさ (総合探偵社くら)

〒530-0001 大阪府大阪市北区中崎2-3-17 パールビル1F

TEL: 06-6131-6544

業種: 探偵事務所

https://www. |



大阪市西区の靱公園近くにある「大阪科学技術館」に行ってきました。近くには大規模な「大阪市立科学館」があって、規模も小さめやから、どうかなあ…っていう想いも正直あったのですが、行ってビックリ!

スペースこそ小さいですが、各フロアにぎっしりと30ものブースがあって、しかもそれぞれ、体験ツールが超充実! 各ブースを2分で回っても60分かかる計算ですから、じっくり学んで楽しむには、かなりの時間を要します。

この日は小学生の団体見学なども無く、心配していた混雑もゼロ。これだけ充実した展示が無料ですから、驚きのコストパフォーマンスですね。

皆さんも是非! オススメな隠れスポットです(∩∩)／



大阪科学技術館

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号

06-6441-0915 (代表)

■開館日: 10:00~17:00 (第1・3水曜休館)

https://www. |



よのなか探訪



生活学

チャレンジ
クッキング

レンチン簡単レシピを3品完成させるというゴールを目指したグループワークを行うチャレンジクック。事前ミーティング、当日の調理、振返りと工程を分け、チームテーマ・個人テーマの達成をゴールとしています。

回を重ねていくと、色々なチーム戦略が生まれます。完全独立分担制を敷くチーム。役割を持たないフリーメンバーを配置してフォローアップ重視型など、さまざまなチームビルドが試行錯誤の中から生まれ、単なる“調理実習”という枠には納まらない変化と体験をもたらしてくれています。



《9月の献立》

- ・レンジでパパッとレンチンツナカレー
- ・簡単！マカロニサラダ・おなかレモン風味
- ・5分で完成！ウインナーとトマトのおつまみ



《10月の献立》

- ・レンジでパパッとエビたまやし炒め
- ・8分で完成！海鮮鍋焼うどん
- ・ずばりで10分！めいじと豆腐の韓国風ミソスープ



和に学ぶ

日本では、
自然そのものが神

清水有子

(和道家)



今回の生活学は「神宮」をテーマに、清水有子さんをお迎えしてお話をいただきました。神宮は皇室のご先祖をお祀りする場所であり、神道は宗教というより「自然と共にある生き方」だということを教えていただきました。講座は和やかな雰囲気の中で進み、参加者からは「自然のままに生きるという考え方に心が軽くなった」「善悪を超えて学びとして捉える姿勢に共感した」「毎日続けられている祭祀に日本文化の奥深さを感じた」といった声が寄せられました。難しい内容も身近な言葉で語ってくださり、時に笑い、時に感嘆の聲が上がるなど、あたたかく学びの多いひとときとなりました。「実際に神宮を訪れてみたくなった」との声も多く、自然と祈りのつながりを感じる貴重な時間になりました。清水有子さん、本当にありがとうございました。



よのなか探訪

オフィス街のど真ん中にある「中之島公園・中之島バラ園」に行ってきました。バラ園がそこにあることはなんとなく知っているけど、ちゃんと見るのは初めて…という方も多く、優雅な時間をみんなで過ごしてきました。

両サイドに川が流れ、その向こうには高層ビルが立ち並ぶ都会に広がる芝生スペースと、細やかに手入れされたバラ園。観光を楽しむ外国人や、辺りを走り回る保育園児たち。遠くの方では、芝生の上で寝転がったりヨガを楽しむ人たちの姿もあって、正に都会のオアシスでした。


<https://www.azuma-kouen.jp/>

- 中之島公園（中之島バラ園）
- 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島1丁目1
- 06-6312-8121（扇町公園事務所）
- 開館日：年中無休

仕事学

私の仕事の
選び方

少しだけ自分を変えてみる

高森 伸子

(ヘアスタイリスト・着付師)

淡路島で生まれ育った高森さんの幼い頃の夢は警察官。二次試験まで進むも夢叶わず、高卒後はバイト先だったマクドナルドに就職。3年が過ぎた時に「このままじゃアカン…」と一念発起し美容学校の門を叩き、現在まで着付け師や美容師として活躍しております。

主に着付けやメイクを中心とした美容室からキャリアをスタートした高森さんは、別の美容室で技術を磨いた後、19年前に、ご主人と共に美容室をOPEN！正に順風満帆に見えるキャリアですが、気持ちの浮き沈みなど自分のコンディションに合った働き方の重要性を教えてくださいました。「休むときはしっかり休んで、時には引きこもることもOK！」参加者の顔がグッと緩んだ瞬間でした（笑）



■hair make cherry
■大阪市阿倍野区阪南町5-1-15
■TEL&FAX :06-6624-2234
■業種：美容室/着付

<https://www.>

看取りは命を繋ぐバトンリレー

土林 由美子

(一般社団法人日本看取り士会)

高卒後に看護学校に入学し、以来55年間看護師として活躍。76歳で看護師人生を終え、認定看取り士として、更に深く人生の最期に寄り添う活動を展開しております。

そんな土林さん語りの中には、戦争後遺症に悩む父の姿、貧困に苦しんだ鹿児島時代、30代での夫との死別、2人の子供を育て上げた気概と不安、50代での両股関節の手術と身体障害など、数々の難難辛苦が並びます。「どれほどの苦勞を乗り越えてきたのだろう？」「どうしたらそんな笑顔で話せるのか？」メンバーからそんな言葉が溢れてきます。

最後に『自分ではどうしようもないのが宿命、その命を運び人生を切り拓くのは運命、そしてその命を懸けるのが使命』土林さんの強さが際立つ締めめの言葉を頂きました。



■一般社団法人日本看取り士会 大阪住吉研修室
■大阪市住吉区苅田9-5-15-501
■TEL090-9708-8438
■業種：認定看取り士、看取り相談

就活体験！

「大阪市地域就労支援センター」が主催する『ハローステップ就職応援プラザ』に行ってきました。この催しは、大阪市地域終了支援センターとハローワーク大阪西や民間企業等が連携して行うイベントで、企業8社による合同面接会、大阪マザーズハローワークによる就職セミナー、POLA化粧品による無料メイクアップ体験、プロカメラマンによる無料証明写真撮影会など、目白押しの内容となっていました。ASTAGEカレッジメンバーと同じく、就職をめざす方々が多く参加しており、その雰囲気や緊張感もまた、とても良い刺激になりました！

この企画を主宰された「大阪市地域就労支援センター」は、大阪府下の各市町村ごとに設置されており、未就職にある若者や障がい者、ひとり親家庭の親、中高年齢者など、働く意欲がありながらも就職に結びつかないという方々をサポートする機関です。オンライン相談や城東区・生野区・東淀川区役所での出張相談などもありますので、ご興味のある方は、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



大阪市地域就労支援センター
■〒556-0027大阪市浪速区木津川2-3-8A'ワーク創造館内
■TEL:0120-939-783
■開館日:(月)~(金)10:00~17:00

<https://www.>



自分探求学

人生グラフって？

人生を折れ線グラフに例えると、上向きに伸びる時もあれば、急降下する時だってある…。その上下だけに着目するのではなく『下向きから上向きに変わる時に、誰のどんな言葉に背中を押されたのか？』『どんな思考の転換があったのか？』といった所に着目して、ゲストが語るご自身の人生グラフを共に読み込んでいきます。

一見順調そうに見える誰かの人生にも、必ず色々な出会いや別れ、成功や挫折が物語として埋め込まれています。

自分が変わった瞬間は？あの時あしななければ…の後悔はどこから生まれたの？今の自分はあの頃の自分を、どう捉えている？誰かの人生から学ぶことは、自分の人生を振るることにもつながりますね。

“過去のせい”ではなく
“過去のおかげ”

宮本佳子

(裁判所・書記官)

人生
グラフ

裁判所書記官の職に就いて20年の宮本さん。さぞ堅実な人生かと思いきや、過酷な幼少期を過ごされたそうです。半ば育児放棄状態だった母に認められる為に進んだ大学での苦悩。3度目の正直で届いた書記官の仕事。自身が母になった時にぶつかった大きな壁…。人生の師に出会うまでの宮本さんは、自分の過去を恨み、その過去に縛られていました。「過去のせいではなく過去のおかげと思えた時、心の奥から感謝が湧いてきた。」と等身大の言葉でシェアしてくれた宮本さん。そこから人生が大きく開け、自分を認め、子供たちを愛し、表情も行動も一変したそうです。現在のキラキラした宮本さんからは想像も出来ない「人生グラフ」を学んだ参加者は、その後、それぞれ自分の「人生グラフ」を作って発表し合いました！



からだ学

第6回「からだ学」では、「不定愁訴と自律神経の乱れ」をテーマに、東洋医学の視点からツボの働きとセルフケア方法が紹介されました。講師の松下健太郎氏は、肩こり・頭痛・倦怠感などの原因が特定しにくい不調を、自律神経のバランスの乱れと関連づけて解説。鍼・灸・指圧の三つの手法を実演し、参加者は実際に鍼の太さを見たり、灸の温もりを体験したり、ツボを押して「痛気持ちいい」感覚を共有しました。「東洋医学の奥深さを感じた」「お灸を身近に感じられた」などの声も多く、薬に頼らないセルフケアの大切さを学ぶ機会となりました。

続く第7回では、「ツボ押しの秘密」をテーマに、痛みやコリ、冷えなどの不調の多くは血流不足が原因であり、ツボ押しは神経を直接刺激して血管を広げ、巡りを整える“即効性のあるセルフケア”であると紹介。経絡を「体内の高速道路」にたとえ、一つのツボ刺激が全身へと影響する仕組みをわかりやすく解説しました。足三里・内庭・委中などのツボ押しや、背面・前面を伸ばすストレッチを実践し、「強く押すより、気持ちよく5秒押して5秒離す」がポイントとされました。参加者は自分の体と向き合い、セルフケアを通じて心身を整える大切さを再確認しました。

押して、ゆるめて、
めぐりだす

松下健太郎

(藤本鍼灸治療院)

ツボって
なんなん？

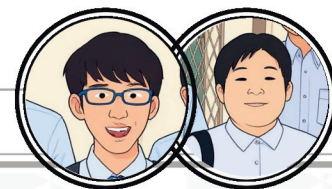
https://www.1q

藤本鍼灸治療院
■大阪府吹田市市内本町1-14-7
■連絡先：090-5064-9247



株式会社 山元紙包装社

社会体感実習の記録



初めての社会体感実習

実習に挑戦したのは全く働いた経験の無い若手のお二人。とても緊張した様子で、事前の見学や打ち合せを経て、3日間の実習スタートとなりました。

実習をお願いしたのは、ASTAGEカレッジではお馴染みの株式会社 山元紙包装社（大阪市都島区・代表 山元康平氏）様。これまでに2名の社会体感実習を実施して頂いており、受け入れ体制は万全です。ヤマゲンさんは、紙袋などのオリジナルパッケージ製造・企画・販売する企業で、自社工場内での組立作業なども多数実施しておられます。今回の実習では主にこの組立部門での作業などを体感させて頂きました。

今回の実習に参加したメンバーは、高校や専門学校を卒業してすぐにASTAGEカレッジに来られ方たちでしたので、職場実習というのは初体験に近い状況でした。また、本実習で初めて採用したペア実習スタイルですが、お互いを支え合える利点と、なあなあになってしまう危険性も心配していましたが、結果としては大成功で、お互いに良い距離感と緊張感を保ちつつ、助け合えたようです！

作業内容としては、化粧品用の箱の組立とその準備工程にあたる両面テープの貼り付け作業を行いました。何百何千という膨大な量の作業に繰返し取り組む、しかも不慣れな環境の中で行う訳ですから、実習生にとっては、かなりのエネルギーを消費する時間

となりました。そんな中で心強い存在となったのが、現場で共に働く社員のみなさんでした。わからない事、ミスしてしまった時など業務的なことはもちろん、何気なく時々声をかけてもらえたことがメンバーにとってはホントに嬉しかった様です。

実習終了後の振り返り面談では、「失敗を通して、改善点や物事の仕組みを理解し、より良いものを作る経験ができた。」「自分の強みである“集中力”を再発見し、この体験を通して“自分はできる”という自信を持てた。」「普段はサボってしまうこともあったが、今回の体験では全てやりきることができ、自分を褒めてあげたいと思った。」とそれぞれ素直な言葉で表現することができていました。

今回の体感実習は、単なる仕事の経験だけでなく、お金の重みや生活力の重要性、様々な社会経験の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。山元社長から「この3日間の学びを今後の人生に活かしてほしい！」というメッセージを頂き、終了となりました。山元紙包装社の皆さん、本当に有難うございました！



体感実習先からのコメント



代表取締役社長
山元 康平さん

集中しすぎるあまり、作業が雑になってしまう部分もあったため、今後は一度立ち止まって作業を振り返ることも意識してほしい。



営業本部長
田中 洋一さん

2人とも非常に高い集中力を持って作業に取り組んでくれていました。これから頑張ってください！



総務・経理
門田 瑛仁さん

最初は緊張していた体験者も、2日目、3日目にはスタッフと打ち解け、コミュニケーションを積極的に取ってくれてましたね。

マコト化成 株式会社

社会体感実習の記録



可能性を再確認するために

今回で二回目となる社会体感実習に挑戦した実習生。その目的は、「自分がこの先、本当に働いて行けるのだろうか？」そんな可能性の再確認をしたいというのが目的の一つにありました。その気持ちに応えてくれたのが、企業LIVE学習会でもお世話になったマコト化成株式会社（東大阪市・代表 清水 宗氏）様でした。同社はプラスチック容器等の製造販売する企業です。化粧品は人の肌に直接触れるものですから、その収納容器にも厳しい品質基準が求められます。また沢山の海外出身者が働いており、言語や文化の違いを超えたコミュニケーションが求められる職場環境でもあります。

今回の体感実習では3日間に渡って製造過程の終盤である検品工程に従事することになった実習生。ダブルチェック体制があるとは言え、責任ある工程に配属された緊張感は、日常では得られない貴重な経験となりました。また今回の実習地は通勤手段もバス・電車の乗り継ぎが必要であり、家を出て家に戻るまでのトータルな視点に立って振り返る事ができる内容にもなりました。



実習終了時の振り返りでは、実習生より「満員電車や立ち仕事などで思ったより疲れた。」「工場の規模やライン作業ということもあって、作業スピードに少し不安があった。」との率直な意見が挙がりました。また昼食時や休憩時間の過ごし方、業務時間外の難しさなどを体感できたことは、今後に活かせる経験値となった様です。

現場を担当して頂いたスタッフからは「特に問題は見られず、丁寧に仕事に取り組んでいた。」「配属先はスピードより正確さを求められる部署であり、現段階では十分対応できている。」「次のステップとして、より流れの速い作業への準備段階として自信を持ってよい。」と概ね及第点のフィードバックを頂いたのですが、なかなか自分に自信を持ってないタイプの実習生は、嬉しさ半分、不安半分の様子でした。

振り返りの中で清水さんから色々な体験談を交えた心の持ち方・捉え方が伝えられました。これまでの経験などから自分自身を認め肯定することに抵抗感を持っていた実習生には、きっと心に響くメッセージだったのではないのでしょうか。短い実習期間でしたが、色々な意味で、自分の可能性を感じることができる実習だったと思います。マコト化成のみなさん、有難うございました！



体感実習先からのコメント



総務部 係長
牧野 真也さん

すぐに自信をつけることは難しくても、少しずつ積み重ねることで、今後の仕事探し・就職活動につながる良い経験として前向きに捉えてほしい。



現場スタッフ
荒巻 雅さん

特に問題は見られず、丁寧に仕事に取り組んでいた。コミュニケーションも笑顔でとっている様子がみられました。



取締役 総務部長
清水 直美さん

「できなかったこと」よりも「できたこと、自分に〇をつける習慣」をつけてほしい。「できて当たり前」ではなく、できたこと自体がすごい！

ビジター参加の皆様 VISITOR

ASTAGEカレッジでは『共に学び合い、共に教え合う』ことを目的に、積極的にビジター参加を受け入れています。
様々な経験や異なる立場を持った方々が出会い、共に歩むASTAGEカレッジに来てみませんか？
皆様のご参加をお待ちしております。



川村祐也さん
㈱サンパワー



永田作馬さん
医)大植会 葛城病院



川原有子さん
ツナグコミュニケーション



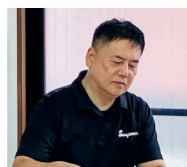
中原晋庸さん
㈱日本チャート販売



菅原香さん
合同会社ダイアログ



真田明子さん
㈱リフト



出羽正敏さん
㈱サンパワー



森田吉彦さん
㈱ダイブラ



山本容子さん
㈱山本精工店



上田恵さん
NO.1 HEROES



高村江津子さん
㈱エナジーソース



土林由美子さん
一社)日本看護士協会



佐々木まろさん
筆文字マイスター



木崎真弓さん
わくわくピアノ&うた
レッスン♪



藤田いづみさん
メイキングライフケア



富岡恵美さん
セラビー整体サロン



大崎麻佐子さん
さちたび屋



山口哲也さん
hair make
GARAKUTA 生野店

アスカレMAGAZINE編集部

ASTAGE college

ASTAGEカレッジでは、以下の視点や考え方、学びを大切にしています
自立訓練=自立+自律(自分の意志で選択・決定していく力)の育成
生活訓練=社会生活力(社会の中で生き抜く力)の育成



モジャモジャがハテナに、
ハテナがピッカンになる学校。



ASTAGEカレッジでは、一緒に学ぶメンバーを募集しています！

見学や体験は随時受け付けていますので、
お気軽にお問い合わせください！

お申込み・お問合せフォームが開きます⇒



編集・発行元



社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

ASTAGE college

自立訓練(生活訓練)事業所 アステージカレッジ

☎ 536-0008

大阪市城東区関目5-3-9-2F

☎ 06-4400-1882

☎ 06-7633-8863

✉ info@omitas.net

ASTAGEカレッジは、こんなお悩みをお持ちの方をサポートする専門機関です。

- 病や障がいについて相談したい方
- 会社を休職中の方
- 就職サポートを受けたい方

- 不登校・引きこもり
- 家族や関係者からのご相談
- 居場所・仲間づくりをしたい方



■ 京阪「関目」
■ 地下鉄
「関目高殿」
「関目成育」
から徒歩3分
見学・体験
随時受付中